

学校番号	17	学校名	静岡南部特別支援学校	校長名	川崎 みどり
------	----	-----	------------	-----	--------

1 目指す学校像

(1) 教育目標「自ら学び 生活を高める 心豊かな子」

自ら学ぶ子：学ぶ喜びを感じながら主体的に学び、考え、行動する子

生活を高める子：自分や仲間を大切にし、互いを認め合い、共に生きる子

心豊かな子：健康で豊かな感性をもち、表現する子

(2) 目標具現化の柱

【学び高め合う（専門性）】

児童生徒の将来像を見据え、ステップアップ、学びの連続性を支える学校

ア 生活年齢、学びの積み重ねを大切にされた系統性ある教育課程に基づいた教育活動の実践

イ 的確な実態把握に基づき「何ができるようになるか」を目指した授業実践

ウ 教職員が主体的に語り合って取り組む授業改善や業務改善の充実

【守り認め合う（安全・安心）】

命、心身を大切に、互いを思いやり児童生徒、教職員が穏やかで和やかに過ごせる学校

エ 清潔で衛生的な安心して学べる学習環境づくりの充実

オ 学校安全、防災、防犯体制の日常的見直し、教職員の主体性、共通理解強化

カ 児童生徒、教職員が自己や仲間を理解し、互いに認め合い、大切にできる学校生活の充実

【つながり合う（連携）】

児童生徒の学びを支えてくれる人と共に歩み、共生社会づくりに貢献する学校

キ 地域、関係機関、保護者と連携した体験的学習や表現活動の充実

ク 共に学び、共に育つ交流及び共同学習の推進

ケ 静岡視覚特別支援学校との連携・協力による効果的な教育活動の推進

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

【学び高め合う（専門性）】 児童生徒の将来像を見据え、ステップアップ、学びの連続性を支える学校

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	生活年齢、学びの積み重ねを大切にされた系統性ある教育課程の実践	<ul style="list-style-type: none"> 学部ごとの年間指導計画の活用と活用後の日常的な見直し 将来像を見据え、学部間のつながりについて年間指導計画の見直し 	生活年齢や学びの積み重ねを意識し、系統的な学習を実践し、見直している	教務生徒
		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領と個別の指導計画に基づいた目標設定 学習評価に基づいた教育課程の見直し 	学習指導要領に基づき、目標設定や学習評価をしている	教務生徒
		<ul style="list-style-type: none"> 個別の教育支援計画の活用 進路や卒業後に関わる情報提供や研修会の実施 	保護者と教職員が、児童生徒の将来の生活を共に思い描き、情報共有している	自立情報進路地域

様式第1号

イ	的確な実態把握に基づき「何ができるようになるか」を目指した授業実践	<ul style="list-style-type: none"> 学部・グループやチームで児童生徒の実態を共通理解した適切な目標設定（個別の教育支援計画、個別の指導計画、Sスケール等の活用） 	将来像を描き、児童生徒が「どのように学ぶか」を想定した授業づくりを行っている	研修
		<ul style="list-style-type: none"> 将来の生活に役立つICT機器の活用 自立活動ハンドブックの活用 自立活動学習会の実施 	児童生徒の実態に合ったICT機器を授業で活用し、将来の生活につながる主体的な学びを促している	自立情報
ウ	教職員が主体的に語り合っ て取り組む授業改善や業務 改善の充実	<ul style="list-style-type: none"> 単元カードを軸とした授業づくりと学習評価 日常的な教師間での授業についての語り合い 	学部・グループや学部を超えたチームで授業づくりについて語り合っている	研修
		<ul style="list-style-type: none"> 小グループで業務の在り方について語り合う場の設定 学部でのマイ定時退勤日の促進 完全定時退勤日（月1回）の設定 	全教職員が時間外勤務月45時間以内、年360時間以内で勤務している	総務会

【守り認め合う（安全・安心）】

命、心身を大切にし、互いを思いやり児童生徒、教職員が穏やかで和やかに過ごせる学校

エ	清潔で衛生的な安心して学べる学習環境づくりの充実	<ul style="list-style-type: none"> 隣接施設、静岡視覚とのこまめな情報共有 学期末の校内清掃実施 	状況に応じた感染症対策や環境整備を行い、校内を清潔に保っている	保健安全
		<ul style="list-style-type: none"> 日常的な校内巡視による施設管理 教員と連携し、迅速で計画的な物品整備 	施設に不良個所の迅速な修繕と、物品の在庫状況の確認を行っている	事務
オ	学校安全、防災、防犯体制の日常的見直し、教職員の主体性、共通理解強化	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理マニュアルを活用した防災・防犯訓練、研修等の実施 隣接施設、静岡視覚との合同訓練の実施 	危機管理マニュアルを理解し、緊急時にとるべき行動が分かっている	保健安全
		<ul style="list-style-type: none"> 校内安全点検結果の進捗状況の共有 ヒヤリハット事例の共有 医ケアや共有事項についての確認、発信 	一人一人が小さな違和感を言葉にし、ヒヤリハットにつながる事例を共有している	保健安全 医ケア検討委員会

様式第1号

カ	児童生徒、教職員が自己や仲間を理解し、互いに認め合い、大切にしている学校生活の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育年間計画の作成・推進 ・お互いの良さを知る活動（全校集会、自己紹介カード、等）の実施 	児童生徒が、自分や相手の良さに気づき、安心して学校生活を送っている	教務生徒
		<ul style="list-style-type: none"> ・人権チェックリストの活用、人権研修会、人権ディスカッションの実施 ・相手の良さを知るためのアイスブレイク等の実施 	相手の思いを想像して、物事を捉えたり、行動したりしている	教務生徒

【つながり合う(連携)】児童生徒の学びを支えてくれる人と共に歩み、共生社会づくりに貢献する学校

キ	地域、関係機関、保護者と連携した体験的学習や表現活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だより、学校掲示板の活用による、学校広報活動の充実 ・児童生徒が地域へ出る機会の増加 	学校のことを知ってもらうため、地域に向けて学校の取り組みを発信している	進路地域
		<ul style="list-style-type: none"> ・スクーリングやリモート学習の充実 ・地域との連携を深め、日常的に関わる体制作り ・学校行事への参加の呼びかけ（保護者、地域等） 	外部講師や地域資源を活用した学習を計画し、実施している	進路地域 学部
ク	共に学び、共に育つ交流及び共同学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の良さが伝わる交流学習の持ち方の工夫 ・児童生徒に分かりやすい学習の設定 	児童生徒が、交流及び共同学習に楽しみをもって参加している	学部 進路地域
		<ul style="list-style-type: none"> ・交流校との事前打合わせ ・児童生徒の実態に応じた交流方法、内容の工夫 ・児童生徒の主体的な姿を知ってもらうためのICT機器等の活用 	ねらいを明確にした交流教育を行い、共生教育の理解啓発に努めている	進路地域 自立情報
ケ	静岡視覚特別支援学校との連携・協力による効果的な教育活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学部ごと日常的な交流の計画と実施 ・行事等への相互参加（全校集会、発表会の事前鑑賞日等） ・連絡会議の実施 ・施設の共通ルールの確認 	日常的に関わり、互いを認め合いながら共に学んでいる	教務生徒